



2024年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月12日

上場会社名 **ダイト株式会社** 上場取引所 **東**
コード番号 **4577** URL <https://www.daitonet.co.jp/>
代表者 (役職名) **代表取締役社長** (氏名) **大津賀 保信**
問合せ先責任者 (役職名) **経営企画室長** (氏名) **高島 浩一** TEL **076-421-5665**
四半期報告書提出予定日 **2023年10月13日** 配当支払開始予定日 **—**
四半期決算補足説明資料作成の有無 : **有**
四半期決算説明会開催の有無 : **無**

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第1四半期の連結業績（2023年6月1日～2023年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第1四半期	12,178	1.1	1,080	△28.0	1,092	△26.0	683	△27.7
2023年5月期第1四半期	12,041	2.5	1,501	△36.4	1,475	△39.0	946	△48.2

(注) 包括利益 2024年5月期第1四半期 793百万円 (△35.9%) 2023年5月期第1四半期 1,238百万円 (△29.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第1四半期	43.27	—
2023年5月期第1四半期	59.74	—

(注) 当社は、2023年9月1日付で普通株式1株につき、1.1株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第1四半期	71,516	51,332	71.4
2023年5月期	70,552	50,971	71.8

(参考) 自己資本 2024年5月期第1四半期 51,044百万円 2023年5月期 50,672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2024年5月期	—	—	—	—	—
2024年5月期（予想）	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,500	5.3	4,800	△7.8	4,800	△7.1	3,300	△8.3	208.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2023年9月1日付で普通株式1株につき、1.1株の割合で株式分割を行っております。2024年5月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期1Q	15,858,440株	2023年5月期	15,858,440株
② 期末自己株式数	2024年5月期1Q	55,457株	2023年5月期	55,413株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年5月期1Q	15,802,994株	2023年5月期1Q	15,836,376株

(注) 当社は、2023年9月1日付で普通株式1株につき、それぞれ1.1株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

(注) 当社は、2023年5月期の第2四半期連結会計期間より株式報酬制度「株式交付信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式（期末自己株式数49,170株、期中平均株式数49,170株）を期末自己株式数および期中平均株式数の算定上、控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウクライナ情勢の長期化や円安の進行によるエネルギー資源や原材料価格の上昇などの影響が懸念され、先行きが不透明な状況が続いております。

医薬品業界におきましては、国のジェネリック医薬品使用促進策が進められ、「経済財政運営と改革の基本方針2021」においてジェネリック医薬品の品質及び安定供給の信頼性の確保、並びに使用促進を行う方針が示されております。一方で、2021年度から2年に1度の薬価改定に加え、中間年においても改定を行う毎年薬価改定が実施され、医薬品業界の事業環境は厳しいものとなっており、当社としても一層の経営効率化への努力が求められております。

昨今の医薬品における品質に係る問題により、医薬品業界の置かれる環境は厳しい状況が続いておりますが、当社では日々の生産における製造管理・品質管理を徹底するとともに、見直すべき点があれば積極的に改善を進め、より一層の製造管理及び品質管理の強化に取り組んでおります。

このような状況のもと、当社グループは生産基盤の充実を図りながら積極的な営業活動を展開しており、当社は新たな製剤工場である第十製剤棟を2022年9月に着工し、2023年12月に竣工を予定しております。また、研究開発活動の強化を図るため、2022年11月に総合研究センターを着工し、2024年2月に竣工を予定しております。

海外展開については、2023年8月に米国においてジェネリック医薬品1品目の承認を取得いたしました。引き続き、米国や中国などへの海外進出を進めてまいります。

売上高の販売品目ごとの業績は次のとおりであります。

原薬では、2023年1月より商用生産を開始した第七原薬棟での増産もあり、消炎鎮痛剤原薬、抗血小板剤原薬等のジェネリック医薬品向け原薬の販売は順調に推移し、売上高は5,670百万円（前年同期比25.0%増）となりました。

製剤では、一般用医薬品の販売が堅調に推移したものの、ジェネリック医薬品の販売減少により、売上高は6,456百万円（前年同期比13.3%減）となりました。

健康食品他につきましては、市場における競争激化等により、厳しい状況で推移し、売上高は50百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は12,178百万円（前年同期比1.1%増）となりました。売上高は増加したものの、主に円安を要因とした原材料価格の上昇による原材料費の増加、研究開発費の増加等により営業利益は1,080百万円（前年同期比28.0%減）、経常利益1,092百万円（前年同期比26.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益683百万円（前年同期比27.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より964百万円増加し、71,516百万円となりました。これは主に、電子記録債権の減少1,042百万円などがあった一方で、仕掛品の増加763百万円、原材料及び貯蔵品の増加430百万円、有形固定資産の増加524百万円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末より602百万円増加し、20,183百万円となりました。これは主に、その他の流動負債の減少535百万円、長期借入金の減少324百万円があった一方で、支払手形及び買掛金の増加1,085百万円、電子記録債務の増加453百万円などがあったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より361百万円増加し、51,332百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加251百万円、その他有価証券評価差額金の増加118百万円などがあったことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度より0.4ポイント減少し、71.4%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期（2023年6月1日～2024年5月31日）の通期連結業績予想につきましては、2023年7月14日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,607	4,002
受取手形及び売掛金	10,671	11,136
電子記録債権	6,974	5,932
商品及び製品	5,626	5,214
仕掛品	5,577	6,340
原材料及び貯蔵品	7,035	7,465
その他	1,172	1,070
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	40,663	41,162
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,727	11,602
機械装置及び運搬具（純額）	6,352	6,462
その他（純額）	7,757	8,297
有形固定資産合計	25,837	26,362
無形固定資産		
その他	377	376
無形固定資産合計	377	376
投資その他の資産		
投資有価証券	2,964	3,128
その他	720	497
貸倒引当金	△10	△9
投資その他の資産合計	3,673	3,615
固定資産合計	29,888	30,354
資産合計	70,552	71,516
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,435	5,520
電子記録債務	3,461	3,915
1年内返済予定の長期借入金	1,429	1,379
未払法人税等	559	250
引当金	54	359
その他	5,488	4,952
流動負債合計	15,428	16,378
固定負債		
長期借入金	3,368	3,043
退職給付に係る負債	497	474
その他	285	286
固定負債合計	4,151	3,804
負債合計	19,580	20,183

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	7,072	7,072
利益剰余金	35,006	35,257
自己株式	△124	△124
株主資本合計	49,140	49,391
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,159	1,277
為替換算調整勘定	324	351
退職給付に係る調整累計額	48	23
その他の包括利益累計額合計	1,532	1,652
非支配株主持分	299	288
純資産合計	50,971	51,332
負債純資産合計	70,552	71,516

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
売上高	12,041	12,178
売上原価	9,263	9,703
売上総利益	2,777	2,474
販売費及び一般管理費	1,275	1,393
営業利益	1,501	1,080
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	30	32
その他	6	9
営業外収益合計	36	42
営業外費用		
支払利息	3	3
為替差損	53	22
支払手数料	4	4
その他	0	0
営業外費用合計	62	30
経常利益	1,475	1,092
特別損失		
固定資産除却損	4	0
特別損失合計	4	0
税金等調整前四半期純利益	1,470	1,092
法人税等	544	429
四半期純利益	926	663
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△19	△20
親会社株主に帰属する四半期純利益	946	683

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	926	663
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	210	118
為替換算調整勘定	82	37
退職給付に係る調整額	19	△25
その他の包括利益合計	312	130
四半期包括利益	1,238	793
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,235	804
非支配株主に係る四半期包括利益	2	△10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)

当社の報告セグメントは、「医薬品事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)

当社の報告セグメントは、「医薬品事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2023年7月14日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行うことを決議いたしました。

(1) 株式分割の目的

株式の流動性の向上を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の内容

1) 分割の方法

2023年8月31日を基準日として同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、1株につき1.1株の割合をもって分割いたします。

2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	14,416,764株
株式分割により増加する株式数	1,441,676株
株式分割後の発行済株式総数	15,858,440株
株式分割後の発行可能株式総数	33,880,000株

3) 日程

基準日公告日	2023年8月17日
基準日	2023年8月31日
効力発生日	2023年9月1日

4) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は以下の通りです。

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年6月1日 至2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年6月1日 至2023年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	59円74銭	43円27銭

(3) 株式分割に伴う定款の一部変更

1) 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づく取締役会決議により、2023年9月1日をもって当社定款第6条で定める発行可能株式総数を変更いたします。

2) 定款変更の内容

変更の内容は以下の通りです。

(下線部分は変更箇所を示しております。)

現行定款	変更後定款
第6条 当社の発行可能株式総数は <u>3,080</u> 万株とする。	第6条 当社の発行可能株式総数は <u>3,388</u> 万株とする。

(4) その他

今回の株式分割に際して、資本金の変更はありません。